



目指す学校像	新たな時代に向けて、伝統ある進学校としての期待に応えつつ、自主自立の校風を継承・発展させ、リーダーとなる良識ある人材を育成する。
重点目標	<p>1 文武両道—学力向上と特別活動等を両立させ、高い目標に果敢にチャレンジする生徒を育成する。</p> <p>2 自己実現—様々な機会を通して視野を広めつつ、高い「志」を実現できる生徒・グローバルに活躍できる生徒を育成する。</p> <p>3 情報発信—積極的に情報を発信して、生徒・保護者・地域等からの期待と信頼に応える学校づくりを推進する。</p>

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

出席者	学校関係者	5名
	生徒	1名
	事務局(教職員)	7名

学校自己評価					学校関係者評価	
年度目標					年度評価(1月24日現在)	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒は、質の高い学習と学校行事・部活動等の特別活動への取組を積極的に行い、両立させている。</li> <li>○依存的学習態度から脱皮し常に新しいことに挑戦する意欲と主体的学習態度を育てる必要がある。</li> <li>○基礎基本の早い段階での定着を土台とした質の高い授業レベルを維持する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自立した学習者の育成</li> <li>高度な授業内容の構築と指導方法の工夫改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①1年当初に実施するくすのき宿泊研修で、学習法講座や卒業生講話を実施する。</li> <li>②継続的な朝自習の取組や、完全下校時刻の徹底等により学習時間を確保する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①宿泊研修により進路意識をプラスに変化した生徒の割合。</li> <li>②1・2年生の平日学習時間</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①2学年アンケートで88.9%が授業に集中と回答。</li> <li>②「学習時間は学年+1時間」「ゲームは1日30分未満」を継続して指導。学習時間平均84.5分(平日/1年/前年度比+2.7分)。</li> </ul>	A
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○120年にわたり培われてきた校風の下、生徒は切磋琢磨しながら充実した学校生活を送っている。</li> <li>○各学年が構築した進路プログラムに則り、生徒は高い目標を立て、自己実現に向かい意欲的に取り組んでいる。</li> <li>○グローバル化社会でリーダーとなる資質の向上を図る必要がある。</li> <li>○高い「志」を実現させる校内組織をさらに活性化させる必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グローバルな視点で育つ事業等への取組</li> <li>校内指導の体制を連動させて、高い次元での進路実現を果たす取組</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①本校の国際交流事業や県のリーダー育成推進事業等への参加を勧め、学校外の方も活用し生徒の意欲を高める。</li> <li>②SSH事業の成果を踏まえ、総合的な学習の時間を軸とした主体的な学びを毎日の授業の場で実践する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①参加生徒の意識・意欲の変化</li> <li>②総合的な学習の時間への生徒の意識・意欲の変化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①英語プレゼン講座に生徒40名参加のほか、エンバートプログラム55名参加、UCLA研修24名参加予定。</li> <li>②サイエンス探究Iを62名、探究IIを41名選択。日本科学未来館プレゼン実習、科学展覧会等に出品。</li> </ul>	A
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ホームページ、土曜公開授業、学校説明会、PT会等を通して、本校の教育活動を発信している。</li> <li>○情報発信をさらに積極的に行い、保護者等の期待と信頼に応える必要がある。</li> <li>○安心安全な学校づくりを一層進めていく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の情報を積極的に発信する学校説明会や土曜公開授業等の取組</li> <li>緊急時における保護者との連絡方法や生徒用備蓄品などの整備等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①学校HPの更新回数を増やし、新鮮な情報を提供する。</li> <li>②土曜公開授業を拡大するとともに、学校説明会、進学フェア、PT会等の行事の広報を積極的に行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ホームページの更新回数と内容</li> <li>②土曜公開授業見学者数およびアンケート結果</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①HPでフォトアルバム等の掲載と更新を実施。保護者あて配布通知や各学年だよりをHP上に随時掲載した。</li> <li>②土曜公開授業に前年比48%増の1079名が参加。アンケートから好評であったことが読み取れる。</li> </ul>	B

実施日	平成30年2月2日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒の授業満足度が高い。</li> <li>○生徒の学習時間が昨年度に比べ増加しており評価できる。自習室の活用等、さらに工夫できないか。</li> <li>○「朝型」学習を奨励してほしい。</li> <li>○1年生6月の文理選択は時期が早いので、生徒の適性を判断するツールをこれまで以上に活用してほしい。</li> <li>○学習時間を記録するなどの地道な指導を学年での指導にとどめず、学校全体として引き継いでほしい。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○新しい大学入試制度ではポートフォリオを自分でまとめることを要求される。保護者にも理解いただく必要がある。</li> <li>○各部活動が日ごろから頑張っており公立高校として立派である。</li> <li>○部活やくすのき祭実行委など人間形成の面をもっと評価するべき。</li> <li>○川高の人間形成の活動はテレビや雑誌などにも数々取り上げられている。</li> <li>○生徒が読書に親しむよう図書館を活用してほしい。</li> </ul>	

